

令和2年度

令和2年9月24日



# 遷喬小だより

9月号

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

## 笑顔フルパワーで 最後までやり抜いた運動会！

今年は コロナ禍の中で、どう工夫すれば、運動会を開催できるかが大きな課題でありましたが、ゆずり合いゾーン、フリーゾーン等みんなで知恵を出し合った新しい形で実施することができました。

P T A平尾会長さんを中心とした役員の皆様による「はぴらいプロジェクト第2弾」の企画のおかげで、大勢の皆様のご協力をいただきました。子どもたちのために今年の運動会を必ず成功させるという強い思いを感じましたし、その皆様の思いが通じたのか、天候にも恵まれました。

子どもたちは、演技だけでなく、係の仕事や先生の手伝い、応援など、今年だけの特別な運動会を成功させようと、練習の時から一生懸命みんなで作り上げてきました。本番も、笑顔で最後までフルパワーで元気よく頑張ることができたと思います。

特に、高学年の子どもたちは、すべてにおいて遷喬小学校のリーダーとしての動きができました。表現は躍動感があり、係の仕事もしっかりと役割を果たし、さすがだと思いました。

ご観覧の皆様にも、子どもたちの一生懸命な姿を見ていただけたことと思います。

コロナ禍の中で例年とは違う形での運動会となりましたが、子どもたちと教職員、保護者の皆様、地域の皆様と「同じ時間」、「同じ空間」を共有できましたことを心よりうれしく思います。最後まで温かい応援、拍手をいただき、ありがとうございました。

また、フィナーレの帽子投げの後には、多くの皆様が会場の片付けにご協力くださり、ありがとうございました。テントや入退場門等あっという間に片付けました。暑い中お疲れのところお世話になりました。

運動会の感想もたくさん届いております。子どもたちへの頑張りや先生たちへのエール、P T A役員の皆様へのお礼の言葉もありました。ゆずり合いゾーンやフリーゾーン、寒冷紗、駐車のマナー等に関する好意的な声も多くいただきました。準備から本番、後片付けまでみんなで作り上げた運動会。全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





## 運動会で蓄えた力を、次のエネルギーへつなげよう

運動会で培った集団への協調性や達成感。最後までやり抜いた力は、運動会だけでなく、今後の様々な取組に生きて働く力になると信じています。子どもたちの中に、目に見えないけれども、いのちの輝き（やる気・本気・元気・根気）のもとがしっかりと根付いているはずです。

運動会明けの23日（水）、朝の会から気持ちよくスタートし、どのクラスもゆるみなく、勉強モードにしっかり切り替えて学習していました。やりきった充実感を漂わせている子どもたち。運動会の成果を確認し、これからの課題とともに新たな目標設定がなされています。これから、どんな輝き・どんな知徳体の成長がみられるか楽しみにしています。

**一日一日を大切に 一時間一時間を大切に**

**一つ一つを大切に 一人ひとりを大切に その積み重ねが生きてくる**